

令和元年度 各種がん検診の受診状況について

- ◇ がんは日本において 2 人に 1 人がかかり、死因別でも 1 位となっています。
- ◇ 罹患者は 1985～2012 年の間に約 2.5 倍に増加しています。(国立がん研究センター調査)
- ◇ 前橋市においてもがんは死因割合 1 位 (死亡割合: 27.4%) を占めています。(下図参照)
- ◇ がん検診の目的は、自覚症状のないうちに早期発見、治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることです。

◆前橋市の各種がん検診受診人数と受診率および検診内容

		H27	H28	H29①	H29②	H30	R01	検診内容
肺がん	%	43.2	42.2	41.5	23.4	23.4	23.6	40 歳以上、 胸部 X 線・喀痰検査
	人数	49,868	49,738	49,433	49,433	49,517	50,238	
胃がん	%	31.2	30.5	30.3	17.1	17.2	17.0	40 歳以上、 X 線又は内視鏡検査
	人数	36,095	35,958	36,111	36,111	36,379	36,236	
大腸がん	%	38.1	36.9	36.3	20.5	20.4	20.4	40 歳以上、 便潜血検査
	人数	44,043	43,523	43,209	43,209	43,227	43,396	
子宮頸がん	%	27.1	27.2	26.0	15.1	15.2	15.5	20 歳以上女性、 内診・細胞診
	人数	22,610	22,825	21,938	21,938	22,060	22,569	
乳がん	%	27.0	26.5	25.7	16.7	16.6	17.1	40 歳以上女性、 視触診・マンモグラフィ
	人数	18,967	18,941	18,550	18,550	18,534	19,079	
前立腺がん	%	42.2	40.8	40.3	22.9	22.9	22.8	50 歳以上男性、 PSA 血液検査
	人数	17,272	17,173	17,190	17,190	17,285	17,362	
計	%	34.80	34.01	33.37	19.28	19.31	19.45	
	人数	188,855	188,158	186,431	186,431	187,002	188,880	

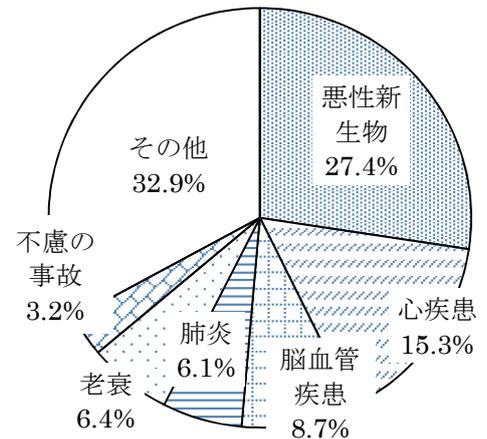
受診率＝受診者数/対象者数で計算 対象者＝H27～H29①：推計値、H29②～R01：対象年齢の全住民

◆参考/がん検診受診率 (地域保健・健康増進事業報告)

令和元年度	肺	胃	大腸	子宮頸	乳
国保加入者%	32.2	33.5	28.0	26.2	31.1
全住民%	15.8	22.3	15.2	25.5	28.0

- 本報告は 69 歳以下の受診者を対象としている。
- 前立腺がん検診は国の推奨する検診ではないため対象外
- 胃、子宮頸、乳がん検診の 2 年連続受診者は対象から除外

主要死因別死亡率 (平成 30 年)



【令和元年度がん検診の実績と取組】

- ・令和元年度の受診者は平成 30 年度と比較して 1,878 人、率では 0.14% 増加している。
- ・胃がんが若干減少しており、子宮頸、乳がんの受診者の増加がやや顕著である。
- ・全国的に見ると指定都市・中核市の中で本市のがん検診受診率は H28～H30 年度 (3 年連続) において、全て (肺、胃、大腸、子宮頸、乳) で第 1 位である。
- ・受診率向上に向けた取組としては、受診対象者全員に対する受診シールの郵送、未受診者に対しては対象を絞って再勧奨通知を送付、広報まえばし、ホームページ、ポスター、チラシ、回覧などによる周知、啓発などを重層的に実施した。
- ・集団健診では、土曜、日曜日の検診実施や婦人科検診における託児や女性医師による健診日を設けるなど、受診しやすい環境づくりに努めた。